

福岡市公報 第7024号（別冊）

令和5年度 上半期

# 業務状況の説明

（公営企業会計）



地方自治法第233条第6項の規定により本市モーターボート競走事業の令和4年度決算の要領を、福岡市モーターボート競走事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、同事業の令和5年度上半期（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）における業務状況を、次のように公表する。

令和6年1月29日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市モーターボート競走事業の令和4年度決算の要領及び  
令和5年度上半期の業務状況  
(第15回公表)  
目 次

	ページ
1 令和4年度決算の要領	1
(1) 決算の概要	1
(2) 業務量	2
(3) 損益計算書	2
(4) 貸借対照表	2
2 業務状況（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）	3
(1) 概況	3
(2) 事業報告書	3
(3) 損益計算書	4
(4) 貸借対照表	4
(5) 企業債及び一時借入金の現在高	4

## 1 令和4年度決算の要領

### (1) 決算の概要

本市のモーターボート競走事業は、昭和28年9月26日に初開催を行って以来、これまでの一般会計への繰出金は約2,946億円（令和4年度末）となり、市民生活の向上に大きな役割を果たしてきました。

令和4年度の売上につきましては、647億5,713万円で、前年度と比べ、158億7,239万円、19.7パーセントの減となっております。

経営状況は、総収益693億1,744万円に対し、総費用646億760万円となり、差引47億984万円の純利益が生じました。

この結果、令和3年度からの繰越利益剰余金に当年度純利益を合わせた、152億9,940万円のうち、40億円を一般会計への繰出金として利益処分し、残りの112億9,940万円は未処分利益剰余金となっております。

今後とも売上の向上を目指すとともに、なお一層の経営の効率化と健全化に努め、一般会計への繰出金を通じて、本市まちづくりへ貢献するという使命を果たしてまいります。

## (2) 業務量

区 分	単位	令和4年度	令和3年度	差引増減
開 催 日 数	日	168	168	-
勝舟投票券売上高	千円	64,757,128	80,629,522	△ 15,872,394
1日平均売上高	千円	385,459	479,938	△ 94,479
開催事務受託売上金額	千円	6,011,387	6,070,534	△ 59,147
場間場外発売事務受託売上金額	千円	13,900,813	14,847,055	△ 946,242

## (3) 損益計算書（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

(単位：千円)

区 分	金 額
総 収 益 ( A )	69,317,437
営 業 収 益	69,281,132
営 業 外 収 益	36,305
総 費 用 ( B )	64,607,601
営 業 費 用	63,831,902
営 業 外 費 用	775,699
特 別 損 失	0
差引損益(A)－(B)	4,709,836

## (4) 貸借対照表（令和5年3月31日現在）

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	23,282,699	固定負債	350,143
流動資産	22,050,851	流動負債	2,081,625
		繰延収益	354,596
		資 本 金	27,247,785
		剰 余 金	15,299,401
計	45,333,550	計	45,333,550

## 2 業務状況（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

### (1) 概況

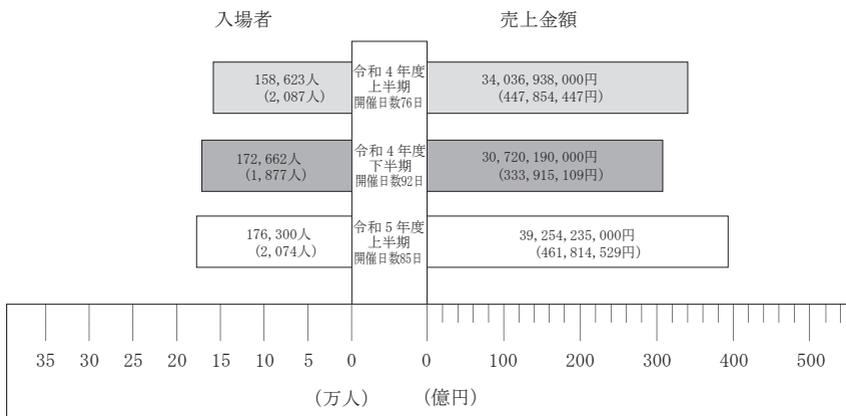
令和5年度上半期の開催日数は85日（前年度同期比9日増）、入場者数は176,300人（1日平均 2,074人）で、前年度同期と比べ11.1パーセントの増（1日平均 0.6パーセントの減）となっております。これは、開催日数が前年同期より増加したことによるものです。

売上金額は、39,254,235,000円（1日平均 461,814,529円）で、前年度同期と比べ15.3パーセントの増（1日平均 3.1パーセントの増）となっております。

また、場間場外発売については、場内売上が1,324,977,700円、外向発売所（ペラボート福岡）売上が5,399,288,000円、合計 6,724,265,700円で、前年度同期と比べ1.8パーセントの減となっております。

### (2) 事業報告書

入場者及び売上金額（ ）は1日平均



(3) 損益計算書（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額
総 収 益（A）	39,778,457
営 業 収 益	39,766,066
営 業 外 収 益	12,391
総 費 用（B）	34,385,736
営 業 費 用	34,385,736
営 業 外 費 用	-
差引損益(A)－(B)	5,392,721

(4) 貸借対照表（令和5年9月30日現在）

（単位：千円）

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	22,877,576	固定負債	350,143
流動資産	26,381,985	流動負債	614,915
		繰延収益	354,596
		資本金	27,247,785
		剰余金	20,692,122
計	49,259,561	計	49,259,561

(5) 企業債及び一時借入金の現在高（令和5年9月30日現在）

ア 企業債の現在高

なし

イ 一時借入金の現在高

なし

地方自治法第233条第6項の規定により本市下水道事業の令和4年度決算の要領を、福岡市下水道事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により同事業の令和5年度上半期（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）における業務状況を、次のように公表する。

令和6年1月29日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市下水道事業の令和4年度決算の要領及び  
令和5年度上半期の業務状況  
(第75回公表)  
目 次

	ページ
1 令和4年度決算の要領	5
(1) 決算の概要	5
(2) 業務量	6
(3) 損益計算書	6
(4) 貸借対照表	6
2 業務状況（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）	7
(1) 概況	7
(2) 事業報告書	7
(3) 損益計算書	8
(4) 貸借対照表	8
(5) 企業債及び一時借入金の現在高	8

## 1 令和4年度決算の要領

### (1) 決算の概要

下水道は、生活環境改善及び浸水の防除のための基幹施設であるとともに、海・河川等の公共用水域の水質保全のための重要な施設です。

本市は、下水道の緊急かつ計画的な整備を推進するため、第1次下水道整備五箇年計画を策定した昭和38年に、本格的に事業着手して以来、積極的に整備を進めてきました。令和4年度におきましても、管渠・ポンプ場・処理場等の整備を計画的に推進しました。

増大する老朽化施設の改築需要に対応するため、改築更新を最重点で取り組みました。

また、浸水対策については、重点的に雨水対策を行う「雨水整備Dプラン2026」に基づき推進しました。特に天神周辺地区については、雨水対策を強化した「雨水整備レインボープラン天神」第2期事業を推進しました。

このほか、下水道施設の耐震化や水洗化区域の拡大などに取り組みました。

令和4年度末の人口普及率は99.7パーセントとなっています。

また、資源の有効利用を図るため、再生水利用下水道事業を推進しました。

一方、施設の維持管理面では、処理施設・ポンプ施設の適切な運転管理と、管渠等の計画的な調査及びそれに基づく清掃・補修を実施し、維持管理業務の効率化とその充実を図りました。

(2) 業務量

区 分	単位	令和4年度	令和3年度	差引増減
処理区域内人口	千人	1,629	1,615	14
人口普及率	%	99.7	99.7	0.0
年間処理水量	千m <sup>3</sup>	172,201	180,114	△ 7,913
処理区域面積	ha	17,199	17,195	4

※年間処理水量は、本市単独の処理場に係る分で、流域関連公共下水道分を除く。

(3) 損益計算書（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額	備 考
総 収 益	53,556,546	
営業収益	43,276,612	
営業外収益	10,190,780	他会計負担金 179,808
特別利益	89,154	
総 費 用	48,090,668	
営業費用	43,634,663	
営業外費用	4,438,542	
特別損失	17,463	
差 引 純 利 益	5,465,878	

(4) 貸借対照表（令和5年3月31日現在）

（単位：千円）

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	760,655,635	固定負債	295,776,858
流動資産	27,600,955	流動負債	41,829,027
		繰延収益	214,669,762
		資本金	163,636,955
		剰余金	72,343,988
計	788,256,590	計	788,256,590

## 2 業務状況（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

### (1) 概況

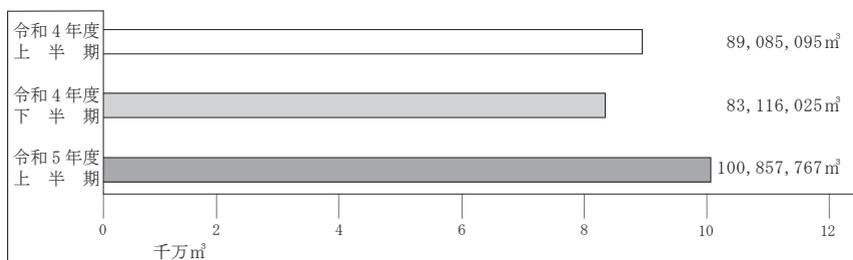
老朽化した施設の改築更新を最重点として事業を実施し、また、重点地区を定め雨水対策を行う「雨水整備Dプラン2026」及び雨水対策を強化した「雨水整備レインボープラン天神」に基づく施設整備や、下水道施設の耐震化を進めてまいりました。

また、公共用水域の水質保全のため、博多駅及び天神周辺地区の分流化などを進めるとともに、下水道資源の有効活用を図るため、再生水利用下水道事業を推進してまいりました。

今後とも、市民の皆様が下水道サービスを安定的・継続的に利用でき、快適で安心して暮らせませう、適正かつ効率的な事業運営に取り組んでまいります。

### (2) 事業報告書

#### 処理水量



※場内循環水を含む。

## (3) 損益計算書（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額
総 収 益（A）	27,682,469
営 業 収 益	22,609,603
営 業 外 収 益	5,057,195
特 別 利 益	15,671
総 費 用（B）	22,079,738
営 業 費 用	20,185,886
営 業 外 費 用	1,866,716
特 別 損 失	27,136
差引損益(A)－(B)	5,602,731

## (4) 貸借対照表（令和5年9月30日現在）

（単位：千円）

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	755,572,095	固定負債	295,776,857
流動資産	18,006,767	流動負債	24,208,301
		繰延収益	212,004,692
		資本金	163,636,955
		剰余金	77,952,057
計	773,578,862	計	773,578,862

## (5) 企業債及び一時借入金の現在高（令和5年9月30日現在）

## ア 企業債の現在高

（単位：百万円）

令和4年度末 現 在 高	令和5年度上半期		令和5年度 上半期末現在高
	発行額	償還額	
321,375	-	8,871	312,504

## イ 一時借入金の現在高

なし

地方自治法第233条第6項の規定により本市水道事業の令和4年度決算の要領を、福岡市水道事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により同事業の令和5年度上半期（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）における業務状況を、次のように公表する。

令和6年1月29日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市水道事業の令和4年度決算の要領及び  
令和5年度上半期の業務状況  
(第142回公表)  
目 次

	ページ
1 令和4年度決算の要領	9
(1) 決算の概要	9
(2) 業務量	10
(3) 損益計算書	10
(4) 貸借対照表	10
2 業務状況（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）	11
(1) 概況	11
(2) 事業報告書	11
(3) 損益計算書	12
(4) 貸借対照表	12
(5) 企業債及び一時借入金の現在高	12

## 1 令和4年度決算の要領

### (1) 決算の概要

令和4年度は、水道事業の基本計画として策定した「福岡市水道長期ビジョン2028」及びその第2次実施計画として策定した「第2次福岡市水道中期経営計画」の2年目として、これらの計画に基づく各施策を着実に推進してまいりました。

財政状況は、総収益362億942万円に対し、総費用は306億4,034万円で、差引55億6,908万円の純利益が生まれました。

この結果、当年度の未処分利益剰余金は、減債積立金の取崩しに伴い発生する、その他未処分利益剰余金変動額31億9,710万円を含め、87億6,617万円となっております。

また、令和4年度末の企業債残高は1,048億3,622万円で、前年度末から1億3,611万円減少しており、着実に減少してはおりますが、将来にわたり安定経営を持続していくため、更なる経営の効率化を行い、利益を確保することで新たな企業債の借入を抑制するよう努めてまいります。

今後とも、長期ビジョンの基本理念である「みなさまから信頼される水道」の実現に向け、各施策を着実に実施してまいります。

## (2) 業務量

区 分	単位	令和4年度	令和3年度	差引増減
給 水 戸 数	戸	945,210	932,078	13,132
年 間 総 給 水 量	m <sup>3</sup>	152,650,614	152,228,867	421,747
1 日 最 大 給 水 量	m <sup>3</sup>	459,633	452,935	6,698
1 日 平 均 給 水 量	m <sup>3</sup>	418,221	417,065	1,156
年 間 有 収 水 量	m <sup>3</sup>	147,222,835	146,992,125	230,710
有 収 率	%	96.4	96.6	△ 0.2

## (3) 損益計算書（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

(単位：千円)

区 分	金 額
総 収 益 ( A )	36,209,424
営 業 収 益	31,688,593
営 業 外 収 益	4,508,828
特 別 利 益	12,003
総 費 用 ( B )	30,640,346
営 業 費 用	29,102,901
営 業 外 費 用	1,523,862
特 別 損 失	13,583
差引損益(A)－(B)	5,569,078

## (4) 貸借対照表（令和5年3月31日現在）

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	372,378,669	固定負債	101,612,331
流動資産	23,705,507	流動負債	18,751,381
		繰延収益	59,864,712
		資本金	204,467,349
		剰余金	11,388,403
計	396,084,176	計	396,084,176

## 2 業務状況（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

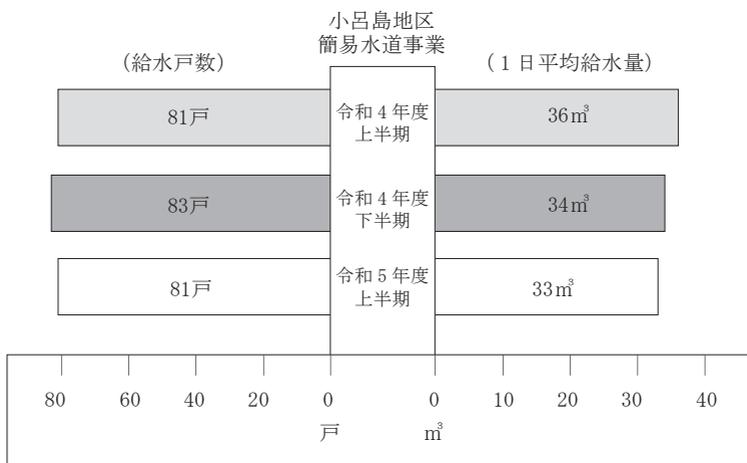
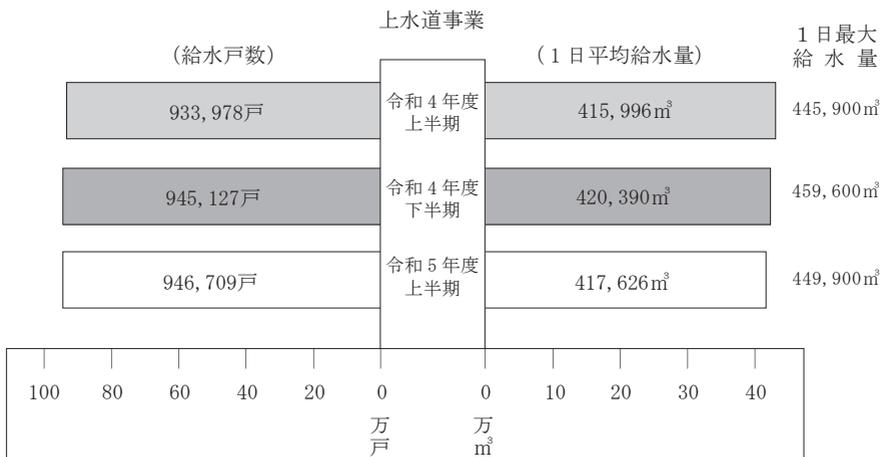
### (1) 概況

令和5年度上半期においては、「福岡市水道長期ビジョン2028」に基づく水の安定供給に向けた計画的な施設整備等の各施策を着実に推進してまいりました。

今後も、長期ビジョンの基本理念である「みなさまから信頼される水道」の実現に向け、各施策を実施していくとともに、事業の運営についても効率的な執行を図り、財政の健全化に努めてまいります。

### (2) 事業報告書

#### 給水状況



## (3) 損益計算書（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額
総 収 益（A）	18,182,197
営 業 収 益	16,087,490
営 業 外 収 益	2,081,662
特 別 利 益	13,045
総 費 用（B）	13,917,635
営 業 費 用	13,184,964
営 業 外 費 用	708,789
特 別 損 失	23,882
差引損益(A)－(B)	4,264,562

## (4) 貸借対照表（令和5年9月30日現在）

（単位：千円）

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	371,646,020	固定負債	101,877,142
流動資産	18,912,905	流動負債	8,802,039
		繰延収益	59,390,597
		資本金	204,836,182
		剰余金	15,652,965
計	390,558,925	計	390,558,925

## (5) 企業債及び一時借入金の現在高（令和5年9月30日現在）

## ア 企業債の現在高

（単位：百万円）

令和4年度末 現 在 高	令和5年度上半期		令和5年度 上半期末現在高
	発行額	償還額	
104,836	－	3,856	100,980

## イ 一時借入金の現在高

なし

地方自治法第233条第6項の規定により、本市工業用水道事業の令和4年度決算の要領を、福岡市水道事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により同事業の令和5年度上半期（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）における業務状況を、次のように公表する。

令和6年1月29日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市工業用水道事業の令和4年度決算の要領及び  
令和5年度上半期の業務状況  
(第117回公表)  
目 次

	ページ
1 令和4年度決算の要領	13
(1) 決算の概要	13
(2) 業務量	14
(3) 損益計算書	14
(4) 貸借対照表	14
2 業務状況（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）	15
(1) 概況	15
(2) 事業報告書	15
(3) 損益計算書	15
(4) 貸借対照表	16
(5) 企業債及び一時借入金の現在高	16

## 1 令和4年度決算の要領

### (1) 決算の概要

令和4年度は、工業用水道事業の基本計画として策定した「福岡市工業用水道長期ビジョン2028」及びその第2次実施計画として策定した「第2次福岡市工業用水道中期経営計画」の2年目として、これらの計画に基づく各施策を着実に実施してまいりました。

財政状況は、総収益2億1,523万円に対し、総費用は2億1,352万円となり、差引171万円の純利益を生じました。

この結果、当年度の未処分利益剰余金は、5億6,186万円となっております。

また、令和4年度末の企業債残高は25億8,048万円で、前年度末から6億7,721万円増加しております。

今後も長期ビジョンの基本理念である「産業と暮らしを支える工業用水道を次世代へ」健全な形で確実に引き継いでいけるよう、各施策を着実に実施してまいります。

## (2) 業務量

区 分	単位	令和4年度	令和3年度	差引増減
給水事業所数	事業所	31	31	-
平均契約水量	m <sup>3</sup> /日	8,224	8,208	16
年間料金水量	m <sup>3</sup>	3,050,651	3,037,839	12,812

## (3) 損益計算書 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

区 分	金 額
総 収 益 ( A )	215,233
営 業 収 益	207,529
営 業 外 収 益	7,704
総 費 用 ( B )	213,519
営 業 費 用	206,216
営 業 外 費 用	7,303
差引損益(A)－(B)	1,714

## (4) 貸借対照表 (令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	3,491,207	固定負債	2,461,599
流動資産	811,011	流動負債	336,241
		繰延収益	364,353
		資本金	578,167
		剰余金	561,858
計	4,302,218	計	4,302,218

## 2 業務状況（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

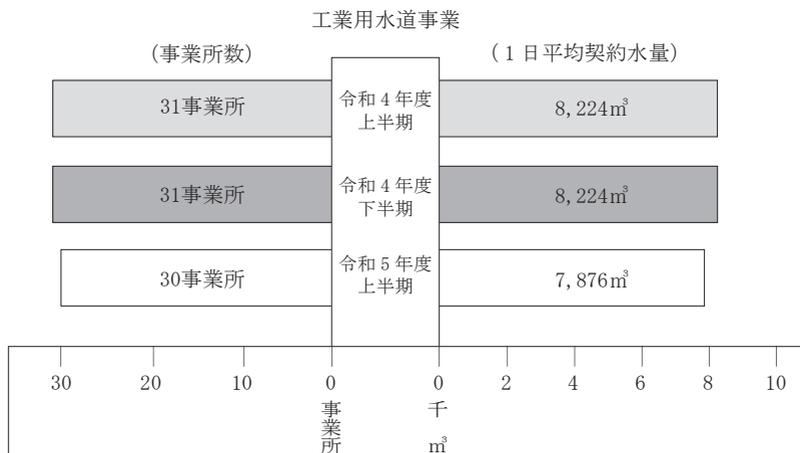
### (1) 概況

令和5年度上半期の給水事業所数は30事業所（9月30日現在）で、1日平均契約水量は7,876立方メートルとなっております。

今後とも、事業の効率的な運営に努めてまいります。

### (2) 事業報告書

給水状況



### (3) 損益計算書（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額
総 収 益 ( A )	105,573
営 業 収 益	99,314
営 業 外 収 益	6,259
総 費 用 ( B )	113,573
営 業 費 用	107,245
営 業 外 費 用	6,328
差引損益(A)－(B)	△ 8,000

## (4) 貸借対照表（令和5年9月30日現在）

（単位：千円）

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	3,471,081	固定負債	2,461,599
流動資産	606,159	流動負債	125,451
		繰延収益	358,165
		資本金	578,167
		剰余金	553,858
計	4,077,240	計	4,077,240

## (5) 企業債及び一時借入金の現在高（令和5年9月30日現在）

## ア 企業債の現在高

（単位：百万円）

令和4年度末 現 在 高	令和5年度上半期		令和5年度 上半期末現在高
	発行額	償還額	
2,580	—	19	2,561

## イ 一時借入金の現在高

なし

地方自治法第233条第6項の規定により本市高速鉄道事業の令和4年度決算の要領を、福岡市交通事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により同事業の令和5年度上半期（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）における業務状況を、次のように公表する。

令和6年1月29日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市高速鉄道事業の令和4年度決算の要領及び  
令和5年度上半期の業務状況  
(第99回公表)  
目 次

	ページ
1 令和4年度決算の要領	17
(1) 決算の概要	17
(2) 業務量	18
(3) 損益計算書	18
(4) 貸借対照表	18
2 業務状況（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）	19
(1) 概況	19
(2) 事業報告書	19
(3) 損益計算書	20
(4) 貸借対照表	20
(5) 企業債及び一時借入金の現在高	20

## 1 令和4年度決算の要領

### (1) 決算の概要

本市の高速鉄道事業は、昭和56年7月26日に空港線（1号線）室見～天神間で営業を開始して以来、順次部分開業を続け、平成5年3月3日の空港線博多～福岡空港間の開業により、空港線と箱崎線（2号線）の全区間が開業しました。また、西南部地域における基幹交通機関として七隈線（3号線）橋本～天神南間が平成17年2月3日に開業、令和5年3月27日には天神南～博多間が開業し、空港線、箱崎線と七隈線を合わせて31.4キロメートルでの営業となりました。

令和4年度の輸送人員及び乗車料収入につきましては、年間輸送人員145,692,253人（1日平均399,157人）、乗車料収入（消費税及び地方消費税を除く。）254億9,426万円で、前年度に比べて、それぞれ23,195,618人（18.9パーセント）、45億6,924万円（21.8パーセント）の増となっております。

経営状況につきましては、総収益321億835万円に対し、総費用は283億9,978万円で、差引37億857万円の純利益が生じております。

本年度末における累積欠損金につきましては、1,088億9,098万円となっております。

今後とも経営戦略に定めた経営理念の下、安全・安心を最優先に、計画的かつ効率的な投資や増収対策に取り組んでまいります。

## (2) 業務量

区 分		単位	令和4年度	令和3年度	差引増減	
営業キロ		km	31.4	29.8	1.6	
在籍車両数		両	228	220	8	
輸 送 人 員	年 間	定 期	人	73,653,420	68,058,840	5,594,580
		定期外	人	72,038,833	54,437,795	17,601,038
		計	人	145,692,253	122,496,635	23,195,618
	1日平均	定 期	人	201,790	186,462	15,328
		定期外	人	197,367	149,145	48,222
		計	人	399,157	335,607	63,550
乗 車 料 収 入	年 間	定 期	円	9,600,964,787	8,897,219,425	703,745,362
		定期外	円	15,893,292,700	12,027,800,544	3,865,492,156
		計	円	25,494,257,487	20,925,019,969	4,569,237,518
	1日平均	定 期	円	26,304,013	24,375,944	1,928,069
		定期外	円	43,543,268	32,952,878	10,590,390
		計	円	69,847,281	57,328,822	12,518,459

(注) 乗車料収入は、消費税及び地方消費税を除く。

## (3) 損益計算書 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

区 分	金 額
総 収 益 ( A )	32,108,350
営 業 収 益	27,480,718
営 業 外 収 益	4,475,842
特 別 利 益	151,790
総 費 用 ( B )	28,399,782
営 業 費 用	26,237,381
営 業 外 費 用	2,162,401
特 別 損 失	0
差引損益(A)－(B)	3,708,568

## (4) 貸借対照表 (令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	363,960,222	固定負債	206,011,054
流動資産	13,827,589	流動負債	34,553,966
		繰延収益	96,301,856
		資 本 金	139,010,000
		剰 余 金	△ 98,089,065
計	377,787,811	計	377,787,811

## 2 業務状況（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

### (1) 概況

令和5年度上半期における輸送人員及び乗車料収入につきましては、輸送人員87,290,553人（1日平均476,998人）、乗車料収入（消費税及び地方消費税除く。）153億5,743万円で、前年度同期に比べて、それぞれ16,843,000人（23.9パーセント）、32億2,404万円（26.5パーセント）の増となっております。

この結果、上半期の経営状況は、当期純損益が約30億円の黒字となっておりますが、引き続き計画的かつ効率的な投資や増収対策に取り組んでまいります。

### (2) 事業報告書

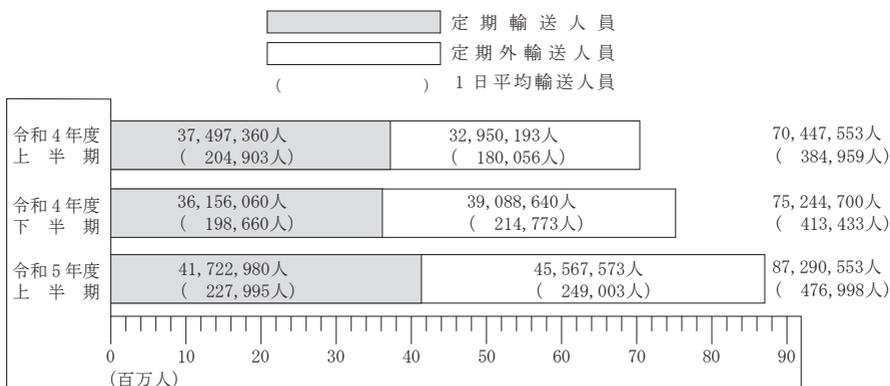
#### ア 営業区間及び営業キロ

空港線（1号線）	姪浜	～	福岡空港	13.1キロメートル
箱崎線（2号線）	中洲川端	～	貝塚	4.7キロメートル
七隈線（3号線）	橋本	～	博多	13.6キロメートル
	合計			31.4キロメートル

#### イ 在籍車両数

228両

#### ウ 輸送人員



## (3) 損益計算書（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額
総 収 益（A）	18,399,347
営 業 収 益	16,595,450
営 業 外 収 益	1,798,433
特 別 利 益	5,464
総 費 用（B）	15,410,780
営 業 費 用	14,431,211
営 業 外 費 用	973,289
特 別 損 失	6,280
差引損益(A)－(B)	2,988,567

## (4) 貸借対照表（令和5年9月30日現在）

（単位：千円）

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	358,524,592	固定負債	198,041,798
流動資産	9,111,318	流動負債	31,156,351
		繰延収益	94,528,258
		資本金	139,010,000
		剰余金	△ 95,100,497
計	367,635,910	計	367,635,910

## (5) 企業債及び一時借入金の現在高（令和5年9月30日現在）

## ア 企業債の現在高

（単位：百万円）

令和4年度末 現 在 高	令和5年度上半期		令和5年度 上半期末現在高
	発行額	償還額	
219,141	－	6,356	212,785

## イ 一時借入金の現在高

なし